

2020年度 IR Dayにおける質疑応答（ネットワークサービス事業）

日 時： 2020年 9月14日（月） 13:20 - 13:50

場 所： NEC本社ビル B1F（多目的ホール）

説明者： 執行役員常務 河村 厚男

質問者A

Q 楽天モバイルが今後、5Gで多額の設備投資を前倒しで実施するとの報道がありますが、今年度、来年度のNECへの業績に影響がありますか？

A 特定のお客様についてのコメントは控えますが、国内5G市場全体については政府の税制優遇の影響もあり、前倒し傾向にあると認識しています。市場環境をしっかりとらえたうえで事業拡大に取り組んでいきます。

質問者B

Q 4G/LTEの累計の売上や収益性の実績はどうだったのでしょうか。それを踏まえて5Gの見通しを教えてください。

A 売上規模については製品提供という観点では5Gは4Gと比べてやや少なくなるとみえています。5GではさらにEnd to Endのサービス提供の拡大が期待でき、当社としてはオープン化を軸に事業を広げていきたいと考えています。

質問者C

Q 国内5G基地局事業の売上ピークの時期・規模はどれくらいと見込んでいますか。

A 2025年度がピークとみえています。国内5Gの当社の売上規模として累計で5000億円以上の規模を見込んでいます。

Q 海外基地局市場で特定ベンダーを排除する動きがありますが、NECへの引き合いは増えていますか。今後の海外での事業機会の拡大について教えてください。

A 当社は5Gのオープン化アーキテクチャーを推進しており、現在、様々なお客様から

引き合いがきています。2030年度にオープン化対応のグローバル基地局市場の約20%獲得を目標に事業を進めています。

以 上